

文化理解系列

教科名	科目名	履修区分	履修条件	期別	学年
文化理解	異文化理解A	選択	なし	通年	2
単位数	定期試験	教科書	副教材		
2	なし	なし	なし		

学習の目標と評価の方法、評価規準

目標 (評価)	知識及び技能 (知識及び技能)	思考力、判断力、表現力 (思考力・判断力・表現力等)	学びに向かう力、人間性 (主体的に学習に取り組む態度)
方法	授業 : 試験 : 課題 = 1 : 0 : 1	授業 : 試験 : 課題 = 1 : 0 : 1	授業 : 試験 : 課題 = 1 : 0 : 1
評価基準	A 異文化に関する多様な概念を深く理解することができる。国際的な視野を持って、解釈・表現することができる。	異文化に触れまたは背景を考察し、自分の考え方を表現かつ相手のことを考え受容し高次元に思考・共有することができる。	考えや文化の違いを認識し、多様な観点から判断したり、考察を深めたりすることができる。
	B 異文化に関する多様な概念を理解することができる。国際的な視野を持って、解釈することができる。	異文化に触れまたは背景を考察し、自分の考え方を表現かつ相手のことを考えを受容することができる。	考えや文化の違いを認識し、考察を深めたりすることができる。
	C 異文化に関する多様な概念を理解しようとする。国際的な視野を持とうとする。	異文化に触れまたは背景を考察し、自分の考え方を表現かつ相手のことを考えを受容しようとする。	考えや文化の違いを認識し、考察を深めようとする。

※方法について・・・授業は授業内の活動や記録、試験は定期試験や実技試験、課題は授業外の活動や記録を示す

学習計画

	月	単元	具体的な学習内容	学習評価		
				知	思	主
前期	4	コーヒーカップの向こう側	発展途上国で栽培されているコーヒー豆を例に、先進国と発展途上国の現状について考える。			
	5	世界一大きな授業	異なる文化や世界の現状について理解を深める。			
	6	あなたにとって豊かさとは？	世界における「豊かさ」の定義について考え、「豊かさ」について考える。			
	7	原発問題を考える	原発について様々な立場からの意見をもとに自分なりの意見を持つ。			
	8	スマートフォンの真実	普段使用しているスマートフォンがどのように作られ、その結果、何が起きているのかを考える。			
	9	お金について	クレジットカード、ローン、資産形成について学ぶ。			
	後期	10	オリンピック・パラリンピック教育	五輪の起源、国旗の意味など、オリンピック・パラリンピックを異文化という視点で学ぶ。		
11		世界の水情勢	世界各国における水情勢について学び、水は有限であるということを知る。			
12		違いから考える平和な社会	様々な違いを受け入れたうえで平和な社会とは何かを考える。			
1		課題探究へ向けて①	3年次課題探究へ向けた準備テーマを設定し、授業を行う。			
2		課題探究へ向けて②	3年次課題探究へ向けた準備テーマを設定し、授業を行う。			
3		課題探究へ向けて③	3年次課題探究へ向けた準備テーマを設定し、授業を行う。			

授業時数計(予定) 70

※学習計画は学校行事や担当の出張などにより変更場合があります。

＜キャリア教育の重点項目＞

○人間関係形成・社会形成能力

グループワーク・ディスカッションなどを行い、意見を交換する。

○課題対応能力

テーマ(課題)を設定し、自ら解決への方策を考え、取り組む。

○自己理解・自己管理能力

レポートで整理し、自分の意見や考えをまとめる。

○キャリアプランニング能力

様々な「文化差」を学習し、将来の自分がすべきことを考える。

＜補足説明＞ 履修条件や必要物品、学習内容に関わる連絡など

3年次必修科目『課題探究』で、文化理解系列に関わる活動を行いたいと考えている人は、この科目の選択が望ましい。

＜自己評価＞ 学習の目標と内容の評価を参考に、自分自身がこの科目で何が身につけ何ができるようになったか